



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



今年の七夕飾り

### 第69号 目次

<b>特集</b>	<b>— 医師が語る疾患 —</b> . . . . . 1
	第25回 糖尿病、ひとりで悩まないために ～糖尿病チーム医療の役割～
	「低カロリー・ローカーボのどら焼き」発売について . . . 2
<b>連載</b>	. . . . . 3
	第24回 職員リレー紹介 感染管理認定看護師
<b>お知らせコーナー</b>	. . . . . 4
	キッチンカーご支援いただきました！

	新型コロナウイルス感染症の看護学校への影響 . . . 5
	海軍病院としての証 . . . . . 6
	外来担当医表／編集後記 . . . . . 7

発行 月：令和2年10月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構  
 横浜医療センター 広報委員会  
 発行責任者：鈴木 宏昌  
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電 話：045-851-2621  
 FAX : 045-851-3902  
 URL : http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

# 特集－医師が語る疾患－

## 第25回 糖尿病、ひとりで悩まないために～糖尿病チーム医療の役割～

糖尿病内分泌内科部長 田島 一樹

現代はストレス社会と呼ばれています。この忙しい時代において、糖尿病患者さんが、糖尿病とうまく向き合えないことから精神的ストレスをかかえることが少なくありません。

### 〈糖尿病に対するストレス〉

糖尿病治療の目標は、糖尿病に特徴的な合併症の発症、増悪を防ぎ、健康人と同様に、日常生活の中で満足感、充足感をもって暮らせることがあげられます。近年、薬物療法の進歩により、患者さん一人一人にあった治療の選択が可能となり、良好な血糖コントロールを維持し、合併症の進行を予防することは可能となっています。しかし、残念ながら現代医学の力では、糖尿病そのものを治すことはできません。

そのため、患者さんにとって、糖尿病は一生付き合うものであり、その中で、「なんで自分が糖尿病になったのか？」と落ち込み、病气自体を否定することも多いのが事実です。当然、食事、運動あるいは薬物療法を毎日規則正しく続けていくことが求められるため、食べたいのに食べられない、定期通院の必要性など、糖尿病の治療そのものがストレスになる場合もあります。このように、糖尿病と向かい合うなかで、精神的ストレスになることは多く、なかには、うつ病が生じる場合もあります。

### 〈糖尿病チーム医療の役割〉

糖尿病を理解すること、それは単に知識を持つことだけではありません。まず、患者さんが、糖尿病になったことで、何が必要になったのか、今までと変わらないことは何か、などを整理して考えることが必要です。それをサポートし、自身の力で、ストレスなく、上手に糖尿病との付き合い方を発見できるように導くことが、糖尿病チーム医療の役割となります。

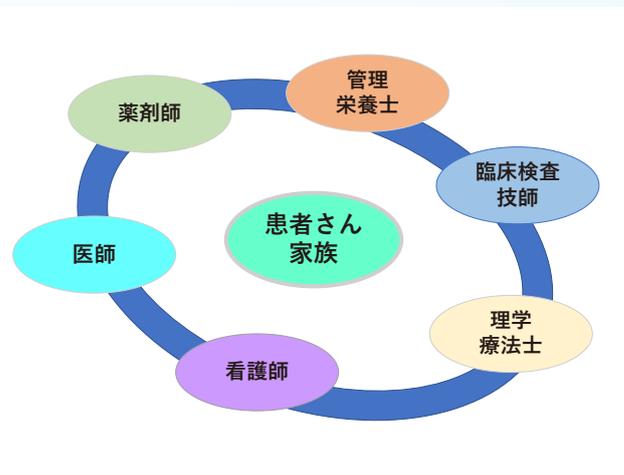
糖尿病チーム医療では、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、医師が一体となり、患者さんの心の負担になっている原因を探り、サポートしています。また、糖尿病は、患者さんのみならず、家族にとってもストレスとなることが明らかとなっており、医療者には家族も含めたサポートが求められています。

### 〈糖尿病教育入院の取り組み〉

当院では、今年度から糖尿病教育入院パスに、ストレスを同定する質問票を導入致しました。患者さんの様々な感情を読み取り、糖尿病がどの程度、心の負担になっているかを評価し、家族も含め、患者さんが「引き受ける、受け入れる、納得する」、そして、うまい付き合い方を探せるように、サポートしていきます。引き続き、糖尿病医療連携において貢献できるよう、糖尿病チームケアユニット一同、努力致します。



糖尿病チームカンファレンスの様子



糖尿病チーム医療によるサポート

# 「低カロリー・ローカーボのどら焼き」発売について

経営企画室長 山岸 秀樹

横浜市戸塚区原宿の横浜医療センター前に店舗を構える和菓子で有名な「菓匠亀福」さんとのコラボ企画として、地域の活性化に寄与する目的で、低カロリー・ローカーボのどら焼きを開発しました。当院の医師、管理栄養士が監修し、餡、皮を一から手作り、砂糖の使用を極力抑え、1個123キロカロリーと低カロリーを実現（通常のどら焼きは1個約200キロカロリー）、生活習慣病の予防となる低糖質でヘルシーなローカーボのどら焼きとなります。検討は重ね、昨年12月より試行錯誤の中、10ヶ月間の期間を要して、ようやく完成に至ることができました。

カロリー制限、糖質制限のある患者さんでも安心して食べることができ、亀福さん店舗にて販売を開始いたします。冷凍保存で30日の賞味期限、解凍後4日間の消費期限となります。また、どら焼きを包装している包材と箱材のデザインは病院職員から公募をして厳正なる審査の上、決定しました。1個260円(税抜き)と通常のどら焼きより少し高めの価格となりますが、院内で職員を対象に開催した試食会では、9割近い方からが美味しいという意見をいただき大変好評でした。

今後、横浜医療センター内において販売を予定しております。皆さまどうぞご賞味してください。



## 菓匠亀福

創業は1958年（昭和33年）11月

季節の和菓子店

北海道小豆を使った品の良い甘さの「東海道原宿もなか」が有名であり、戸塚区区政75周年記念事業、とつかおいしいものブランドにも選定されました。（ホームページより抜粋）

## 第24回 感染管理認定看護師 (Certified nurse in infection control : CNIC)

感染管理認定看護師 (手術室看護師長) 柏倉 佐江子

初めまして、こんにちは。今回は「感染管理認定看護師」の紹介です。「感染管理認定看護師」と言われても何を行っているか分からないかと思いますので、役割と活動、特に新型コロナウイルス感染症における活動についてお話しします。

「感染管理認定看護師」の役割は、疫学・微生物学・感染症学などの専門的知識を活かして病院に係るすべての人を感染から守ることです。当院では3名が活動しており、うち1名が専従です。

「感染管理認定看護師」の主な活動はまず、当院の現状を把握して評価し医療関連感染予防・管理システムを構築することです。手指衛生の状況や環境整備の方法など日々の感染予防対策を評価して見直します。そして数値化して見える化し関連部署に改善策を求め、再構築を目指しています。



A：スタッフへの个人防护具着脱訓練の様子

次に医療従事者や患者とその家族等に対し医療関連感染の予防と管理について指導しています。現在、新型コロナウイルス感染症が私たちの日常を脅かしていますが、新型コロナウイルスは咳・くしゃみなどによる飛沫、接触感染を予防することが必要です。そのため「感染管理認定看護師」は、今回の有事の際にも手指衛生の重要性、个人防护具の使い方や着脱手順等について改めて指導を行っています (写真A)。

また感染管理認定看護師と救急救命士と共に地域の福祉施設に出向き、感染対策の相談を直接伺い、一緒に確認をしながら巡廻し指導を行っています。(写真B)

スタッフや利用者さんの行動や動線、物品保管状況などを踏まえてその福祉施設に沿った感染対策が実行できるよう共に考え改善策を提案しています。感染管理認定看護師は当院だけではなく地域と一丸となって感染対策に努めています。



B：福祉施設での指導の様子



C：新型コロナウイルス対策本部での様子

そして感染管理認定看護師は関連組織と協働してパンデミック (世界的大流行) や災害等の緊急事態を想定した準備と対応も行っています。当院においては現在、新型コロナウイルス対策本部が設置され、災害モードで対応しております。(写真C)

対策本部長の指示のもと指示命令システムを統一し職員数の多い当院において正しい情報が正しく発信できるようマネジメントを行っています。日頃の感染対策を見直すチャンスであること、また職員が一致団結して感染予防対策に取り組み、必ず乗り越えられることを信じて、一日も早くコロナ禍が収束し、地域のみなさまと病院職員に平穏な日常が戻ることを願っております。

# お知らせコーナー

## 丸亀製麺キッチンカーによる「出来たてうどん」のご支援をいただきました！

8月26日、9月30日に(株)トリドールホールディングス様より、丸亀製麺「出来たてうどん、天ぷら」の無償提供をいただきました。神奈川県内の医療機関に向けてキッチンカーの派遣を5月から行っているそうです。

丸亀製麺と言えば、コシがあって、ツルツルと食べられるぶっかけうどん。トッピングの天ぷらもキッチンカーの中で揚げているので、あつあつのうちにいただくことができました。



職人さん4人体制で作っています



雨にもかかわらず、大盛況

緊急事態宣言解除後ですが、当院では「新型コロナ対策本部」を中心に、奮闘する日々が続いています。多くの職員が「出来たてうどん」を楽しみに、昼休憩時に並んでいる姿が見られました。

おいしいものを食べると、自然に笑みがこぼれます。

当院は職員数が多いため、「うどんもスタッフも普段の倍です」と担当者の方が話してくれました。

あたたかいご支援をいただき、ありがとうございました。



# 新型コロナウイルス感染症の学校へ影響

横浜看護学校 副学校長 福田 優子

新型コロナウイルス感染症は教育現場にも様々な影響を及ぼしました。新年度、始業式と入学許可式の2日間の登校により、学生に医療従事者の一員として自律した行動をとるように意識付けし、以降自宅学習にしました。毎日担任から電話による状況確認、郵送による課題で講義を進めました。遠隔授業の導入の必要性を感じながらも、授業料の安い専門学校では、ITの整備が不十分です。しかし調査すると想像以上に学生のネット回線は整っており、実施を決断しました。問題は学校側の乏しいネット環境で80名の授業を同時に2学年で行うことでした。4月に40名のホームルームから開始し、5月7日から本格的に遠隔授業を開始しました。講師陣も協力してくださり、1日3～4コマを3週間行うことが出来ました。これより1・2年生は予定通りに夏休みを迎えることが出来ます。6月16日から密を避け、体育館も教室として使いながら授業をしました。

最大の問題は実習でした。5月末からの実習は自施設と箱根病院、訪問看護ステーション、保育園に限られました。通常6時間を臨地で学習するところ2・3人の学生を2時間臨地に行くシフトを組みました。さらに新型コロナウイルスの影響で受持てる患者さんが減少しました。特に小児看護学実習では受け持てる小児が1名という危機的状況になり、教員の子ども数名が演習に協力してくれました。改めて「実習時間は全て臨地で学ばなければならない」という狭い考え方とリスク管理の甘さを反省しました。これらの経験は、自分の、或いは組織の古き価値観を変え、「当たり前を疑う」ことを教えてくれました。

感染者を多数受け入れながら、或いは感染者を出すことが出来ない状況で実習を受け入れて下さった施設、学生を受け入れようと最後まで頑張ってくれた施設の皆様に感謝申し上げます。6月からの実習はほとんど予定通り行えています。このようにNHOの病院との連携の良さは、当校の最大の強みです。

多くの患者を受け入れながら学校教育に積極的で寛大な学校長、柔軟性と創造性豊かな教員の力で第1波を乗り切ることが出来そうです。学生と保護者の協力にも感謝します。次の感染症と勇敢に戦える看護師を育成するため、目の前に学生が居ることに感謝しながら教壇に立ち続けたいと思います。



フィジカルディスタンスを保って授業を受ける

先日、院内にアシナガバチが大量に発生しているとの情報があり、これを駆除すべく職員複数名で蜂の巣を探していたところ、当院敷地の最も北側の位置する、職員も滅多に入り込まない場所にM字型の2本の波線に碇マークが施された赤錆の浮く古びた消火栓が残されていることに気がきました。

当院は、昭和18年6月に戸塚海軍病院として創設され、終戦後に厚生省（当時）に移管され昭和20年12月に国立戸塚病院として発足しております。

私は、当院と同じように海軍病院から国立病院となった茨城県土浦市にある霞ヶ浦医療センターにも勤務していた経験があり、その地にも同じような遺構が多数存在していたことから、この遺構も海軍病院時代のものと直感いたしました。

戸塚海軍病院の創設から80年近くが経過してもなおこの地に佇む碇マークの遺構に、少年時代に心が騒いだ「宇宙戦艦ヤマト」への思いを馳せるのは飛躍しすぎでしょうか。

なお、戸塚海軍病院には、当時、築地に在った海軍軍医学校の分校として、海軍軍医学校戸塚分校が併設されており、本遺構の傍らにはその跡地としての記念碑が建立されております。



診療科	月	火	水	木	金	
外来受付 A	小児科	鍋木 陽一	福山 綾子	只木 弘美	鍋木 陽一	塩谷 裕美
		原 良紀	本井 宏尚	伊波 勇輝	矢内 貴憲	鈴木 裕二
	心臓血管外科	加藤 愛美		石丸 愛	高橋 英里佳	白井 綾乃
	形成外科	村上 弘典	休診日(手術日)	盆子原 幸宏	休診日(手術日)	久米 悠太
整形外科		柏木 慎也	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
		渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経
		小林 明裕	小澤 祐樹	小澤 祐樹	佐藤 雅経	小林 明裕
		堀 莉彩	日野 勝利	勝山 陽太	堀 莉彩	森田 彰
	勝山 陽太			森田 彰		
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	田島 一樹	交代医師	田島 一樹	高橋 明裕	田島 一樹
		高橋 明裕		末園 太一	宇治原 誠	
	脳神経内科	小島 麻里	栗田 悠輔	高橋 竜哉	鈴木 聡	新井 拓真
	腎臓内科	松下 啓	毛利 史将	松下 啓	森田 隆太郎	休診日
	呼吸器内科	須藤 成人	休診日	椿原 基史	休診日	廣瀬 知文
	消化器内科	中島 聡美 (第1・3・5曜日)	川島 捺未 (第1・3・5曜日)	田邊 浩紹 (第1・3・5曜日)	細矢 さやか (第1・3・5曜日)	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	松島 昭三 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)	石井 研 (第2・4曜日)	葛生 健人 (第2・4曜日)
	循環器内科	小池 俊晴	森 文章	岩出 和徳	齋藤 貴士	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	関口 章子	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
	外科・消化器外科	清水 哲也	関戸 仁	木村 準	関戸 仁	休診日 (手術日)
			太田 郁子 (乳腺外科)	交替医師		
	呼吸器外科	休診日 (手術日)	増田 晴彦	休診日 (手術日)	渡部 克也	渡部 克也 (第1・3・5曜日) 増田 晴彦 (第2・4曜日)
	脳神経外科	休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	宮原 宏輔 (第1・3・5曜日)
宮原 宏輔 (第2・4曜日)			田中 悠介 (第2・4曜日)	谷野 慎 (第2・4曜日)		藤津 和彦
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	赤羽 邦彬	佐々木 祐幸	赤羽 邦彬	交代医師
	眼科	木村 正彦	永田 有司	岡部 智子	木村 正彦	田島 彬子
		藤田 智子	岡部 智子	田島 彬子	永田 有司	藤田 智子
	泌尿器科	今野 真思	平井 耕太郎	休診日 (手術日)	平井 耕太郎	今野 真思
石川 達郎		宮井 敏孝		藤岡 あずみ	石川 達郎	
皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士	
	皆川 大輔	皆川 大輔		皆川 大輔	皆川 大輔	
外来受付 D	精神科	休診日	休診日	交代医師	休診日	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	内山 亜弥	乗杉 輝彦	中島 文香
		柳澤 美弥	高山 智子	瀧向 なつみ	交代医師	飯島 崇善
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
歯科口腔外科		根岸 明秀		根岸 明秀		
専門外来 (予約制)	脳神経内科	物忘れ外来	頭痛外来 (第2・4曜日)			
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科			アスベスト外来 (第1曜日)		
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来		
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
	精神科	物忘れ外来				物忘れ外来

初診受付：(平日) 8:30~10:30

休診日：土曜日・日曜日・祝日、12月29日~1月3日

※急患は随時受け付けております。来院前に病院に連絡下さい。(代表)045-851-2621

※黄色の枠の担当医は、完全予約制となります。

◆編集後記◆

毎年医療サービス推進委員で七夕の飾り付けをしています。今年はコロナ感染拡大防止の観点から外来には短冊記載台を設置せず、入院患者さん、職員へお知らせし記載してもらいました。記載されている願い事は多種多様・・・「家族みんなが元気でありますように」、「無事に元気な子が産まれますように」、「お金持ちになれますように」、「美人になれますように」、「ジャイアンツ優勝！」などなど。一番多かったのはやはりコロナ終息に関連する願い事でした。七夕の翌日には撤収し、短冊は皆さんの願いが叶いますように、近くの神社へ奉納してきました。少しでも早く、今までのような日常生活に戻りますように・・・。